

避難生活支援

リーダー／サポーター研修

「災害関連死・ゼロ」を目指して

参加
無料
定員あり

近年、災害の多発や避難生活の長期化による**災害関連死**の増加がますます懸念されています。

災害関連死を防ぐためには、地域社会の多様な人々が連携し、互いに支え合うことが不可欠です。

本研修では、災害時の避難生活の環境向上に貢献できる地域の人材**「避難生活支援リーダー／サポーター」**としてご活躍いただくことを目指し、演習・グループワークを中心に、**避難生活の環境改善のための実践的な知識・ノウハウ**を学びます。



研修（避難所運営演習）

日 時

1日目：令和8年1月17日（土）10:00～16:00

2日目：令和8年1月18日（日）10:00～16:00

会 場

結とぴあ（多田記念大野有終会館）305・306号室
〒912-0084 福井県大野市天神町1-19
※駐車場あり

持ち物

研修テキスト、昼食、飲み物、筆記用具、バインダー（クリップボード）

実践に
役立つ

どなたでも
参加可能

プログラム

1 日 目

- ・多様な被災者の心情や状況の理解
- ・避難生活の課題と生活環境の整備



▲研修の詳細内容については、研修紹介動画をご覧ください

2 日 目

- ・対人コミュニケーション
- ・避難所運営の担い手との連携・協働



この研修は、内閣府「避難生活支援・防災人材育成工システム」の構築に向けたモデル研修として実施するものです。

詳細は裏面へ

研修当日までの事前学習があります。

研修テキスト

避難生活支援に関する基礎知識、過去の災害時の課題や対応事例などを紹介したテキストをお送りして、ご一読いただきます。



オンデマンド動画

研修テキストの中から特に重要な点を理解していくため、動画を研修前にご観覧いただけます。
(約2時間)



お申込後に、テキストを送付し、オンデマンド動画の情報をお知らせします。



研修講師



辛嶋 友香里 氏

ピースボート災害支援センター
国内災害事業
現地コーディネーター

2011年、東日本大震災をきっかけにPBVの初期運営メンバーとして支援に携わり職員となる。被災地に向かう数万人のボランティアをオーガナイズ。現在は、全国各地で講演や研修講師としても活動中。災害ボランティアや避難所運営の人材育成など各種「防災・減災」プログラムの開発、企画、制作、運営などを総合的に実施している。その他マニュアルの作成アドバイス、執筆なども行っている。また、国内災害の緊急支援も担当。毎年常駐型で、被災地の現地コーディネーターとして災害対応にあたっている。



小柳 由佳 氏

日本赤十字社 長野県支部
事業推進課長
監査委員事務局 参事

現在、災害救護をはじめ救急法等講習、医療事業、看護師等養成、血液事業に関する業務に携わっている。熊本地震や令和元年台風19号災害ではボランティアと一緒に支援活動を行った。防災教育事業者として、幼児から大人まで楽しく学ぶ防災教育の講演やセミナーの普及、主任として指導者の育成にも力を入れ取り組んでいる。



中野 篤 氏

日本防災士機構 総務課長

防災士制度の創設準備から事務局として携わり、2002年日本防災士機構設立後は、防災士教本編纂や防災士養成研修機関の育成、資格試験や資格認証の業務、防災士養成講師、防災士ハンドブック編纂など、制度全般の運営管理や普及活動に従事。また、東京都や世田谷区の災害ボランティアコーディネーター、各種防災講演の講師、被災地支援ボランティア活動（中越地震、東日本大震災、熊本地震、西日本豪雨災害、能登半島地震など）、報道取材対応などで活動している。

お申込方法・窓口 ※申込み〆切 12/22(月)

- お申込みに関するお問い合わせは、大野市役所宛てにご連絡ください。
- お申し込みは、申込みフォーム、電話、ファックス、メールで受付いたします。
- 定員(50名)に達した場合、受付を終了します。

申込用
QRコード



※QRコードは株式会社デンソーウエーブの登録商標です

大野市 地域づくり部 防災防犯課
〒912-8666 福井県大野市天神町1番1号
①申込みフォーム：右に記載のQRコードから申込みできます。
②電話：0779-64-4800
③FAX 0779-66-7708
④E-mail: bosai@city.fukui-ono.lg.jp



研修に関する
お問い合わせ先

内閣府業務受託事業者 避難生活支援リーダー／サポーター研修事務局
株式会社ダイナックス都市環境研究所（担当：有賀、小池、橋本）
TEL : 03-5402-5355 MAIL: leader-supporter@dynax-eco.com